

## 基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

推進項目

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

## 1 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会

- ・交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むため、「第13回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」(令和6年10月20日)を開催。実施種目をハーフと10キロの2種目とし、全国25都道府県、1,336名のエントリーをいただいた。
- ・前回大会と比較すると全体で214名増、市内の参加者は135名増となっており、市民の本大会に対する関心や健康に対する意識が向上していると考えられる。
- ・前回大会に引き続き、全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)にも出場している埼玉医科大学グループのメンバー13名が10kmの部にエントリーするなど、トップ集団ではハイレベルな戦いが繰り広げられた。
- ・40代・50代の参加者が過半数いることから、働き世代のスポーツ活動の支援や女性のスポーツ参加支援の一助となっていると考えている。



## 【エントリー数】

1,336人(男性1,080人、女性256人)

うち、県外参加者 582人(全体の43.6%、第12回大会41.8%)

種目別／(ハーフ)736人 (10km)600人

- ・「東京マラソン2025」との一般提携大会として、今年もハーフの部の完走者の中から3名の選手を抽選し、推薦することができた。
- ・市民ボランティアの積極的な参加と地元企業の協力により、参加者と市民の一体感が回を重ねるごとに増し、酒田市ににぎわいを創出することができた。

## 【警備・給水所等ボランティアスタッフ】 496人

- ・一般ボランティア(一般・企業・各協力団体等)152人
- ・酒田市陸上競技協会・高校生陸上部100人
- ・各地区体育振興会、酒田市スポーツ推進委員92人
- ・宮野浦体育振興会70人
- ・食生活改善推進協議会21人
- ・救護関係36人(酒田地区医師会・日本海総合病院・消防組合・SMART)
- ・市職員15人 ・元気王国10人 ※他、警備員(委託契約)95人

- ・今大会から、市内高校生及び東北公益文科大学生にもボランティア協力を呼び掛け、高校生 22 名、大学生 9 名の申し込みがあった（協力してくれた高校生には大会実行委員会発行のボランティア活動証明書を配布）。
- ・今大会のゲストランナーとして野々村 真さんを迎え（6 回目の参加）、ランナーや沿道で応援する方々と触れ合っていたいただき、大会を盛り上げていただいた。
- ・今大会では初の試みとして、完走者へフィニッシューズタオルを配布した（完走率 98.7%）。
- ・今大会ではフィニッシュ後に、いも煮と、生麺をその場で茹でた「酒田のラーメン」を用意し、つや姫おにぎりと共にランナーへ庄内の味を振る舞うことができた。



## 2 みなと酒田トライアスロンおしんレース大会

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度から 4 年連続で中止。令和 7 年度も事務局の運営体制が整わないことから大会中止が決定している。

## 3 モルック全国大会

- ・酒田市光ヶ丘多目的グラウンドを会場に開催されたモルック全国大会（令和 6 年 10 月 13 日）へ補助金を交付した。
  - ・モルックの全国オープン大会として、全国から 64 名（県内 25 名、県外 39 名）の参加者が集まり競技を行った。
- ※県外内訳（宮城 8 名、東京 8 名、埼玉 7 名、新潟 6 名、その他青森、秋田、岩手、福島他）

## 4 スポーツフェスティバル

- ・ニュースポーツの普及に加え、市民が一堂に会し、家族やサークル仲間、地域住民等みんなですポーツを楽しむ機会を創出するとともに、交流の輪を広げながら健康・体力の増進を図り、明るく住みよい地域づくりを推進することを目的に「第 1 回酒田市スポーツフェスティバル」（令和 6 年 7 月 7 日）を開催。
- ・輪投げ、カローリング、モルックの大会と各種体験会など 1 日を通してスポーツの楽しさを満喫できるイベントとなった。
- ・大会参加者 71 チーム 280 名、体験会参加者延べ 669 名が会場である INPEX 酒田アリーナを訪れた。

●体験会種目

ボッチャ
フロアカーリング
スポーツ教室
ストレッチ教室
体力測定会
身体組成計測
一輪車教室
ノルディックウォーキング
輪投げ
モルック (午前のみ)
カーリング

●大会結果

モルック大会	
順位	チーム名
1位	パウパトロール
2位	宮野浦鉄人クラブ
3位	広野体育振興会

輪投げ大会	
順位	チーム名
1位	南遊佐A
2位	西荒瀬B
3位	宮野浦A

カーリング大会	
順位	チーム名
1位	東平田A
2位	中平田ドジャース

5 市駅伝競走大会

- ・市巡回駅伝競走大会は令和5年度の第18回大会が最後の大会となり、令和6年度から形を変えて、光ヶ丘クロスカントリーコースを周回するコースで市駅伝競走大会を開催(令和6年11月10日)。
- ・大会参加者は12チーム124名(1部:8チーム、2部:4チーム)がエントリーした。
- ・各地区体育・スポーツ振興会等から62名のスタッフから協力いただき、大きな混乱やトラブルもなく安全安心に大会を運営することができた。

●大会結果

【1部】

順位	チーム名	記録
1位	松山	1時間17分31秒
2位	松陵	1時間22分28秒
3位	いずみ	1時間26分56秒

【2部】

順位	チーム名	タイム
1位	上田	1時間31分13秒
2位	岡田クリニックRC	1時間34分29秒
3位	愛陽会 三川病院	1時間35分56秒

【区間賞】

区間	所属	名前	記録
1区(5.2km)	松山	鈴木 亮平	16分40秒
2区(2.8km)	松山	成田 和磨	9分19秒
3区(2.8km)	松山	後藤 颯星	8分20秒
4区(2.8km)	松原	佐藤 駕来	10分55秒
5区(2.8km)	松山	富樫 陽真	9分27秒
6区(2.8km)	ひらた	志田 良	10分59秒
7区(2.8km)	松山	新館 陽	9分31秒
女子部門(2.8km)	松陵	鈴木 潮	11分22秒

6 東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけとするニュージーランドとの交流

- ・国外交流(ニュージーランド)に関する事業は、令和6年4月に交流観光課から共生社会課に移管されたが、令和6年度における特筆すべき事業はなし。